

平成
30年度

浦安の子どもたちの
確かな学力の向上を目指して

全国学力・学習状況調査結果

平成30年4月17日実施

目次

調査結果概況

P 4

小学6年生

- 国語(知識・活用) 結果と課題・指導改善例 P 7
- 算数(知識・活用) 結果と課題・指導改善例 P12
- 理科 結果と課題・指導改善例 P17

中学3年生

- 国語(知識・活用) 結果と課題・指導改善例 P20
- 数学(知識・活用) 結果と課題・指導改善例 P25
- 理科 結果と課題・指導改善例 P30

質問紙調査結果(児童生徒質問紙)

P33

目的

- 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

結果の取り扱いについて

- 調査結果は学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面であることを踏まえ、指導法の改善等に活用する。

調査結果概況

小学6年生

| | | 浦安市 (%) | 全国値 (%) | 全国値 との差 | 受験者数 |
|-----------|-----|------------|------------|------------|------|
| 小学校 6年 | 国語A | 72 | 70.7 | 1.3 | 1641 |
| | 国語B | 58 | 54.7 | 3.3 | 1641 |
| | 算数A | 67 | 63.5 | 3.5 | 1641 |
| | 算数B | 58 | 51.5 | 6.5 | 1641 |
| | 理科 | 65 | 60.3 | 4.7 | 1640 |

→国語・算数・理科 全て全国平均を上回っています。

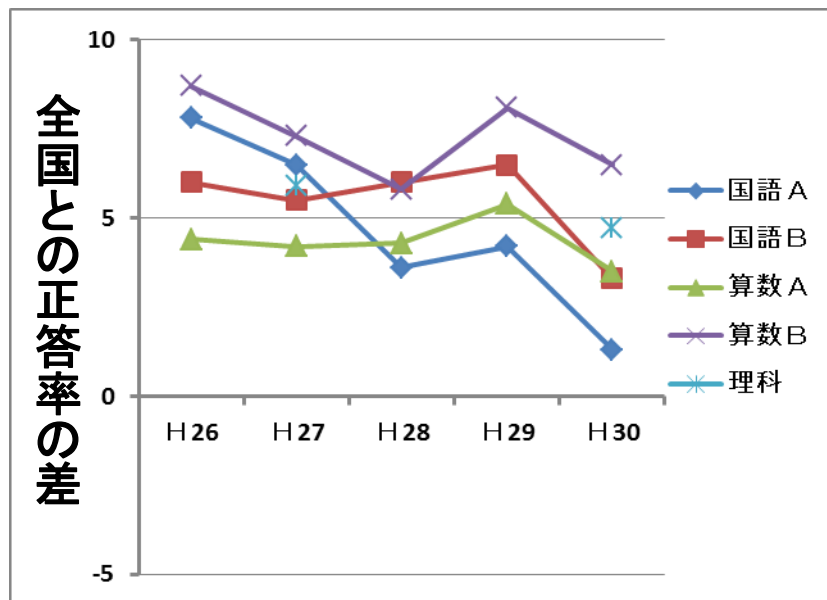
中学3年生

| | | 浦安市 (%) | 全国値 (%) | 全国値と の差 | 受験者数 |
|-----------|-----|------------|------------|------------|------|
| 中学校 3年 | 国語A | 80 | 76.1 | 3.9 | 1356 |
| | 国語B | 66 | 61.2 | 4.8 | 1354 |
| | 数学A | 70 | 66.1 | 3.9 | 1353 |
| | 数学B | 53 | 46.9 | 6.1 | 1352 |
| | 理科 | 69 | 66.1 | 2.9 | 1353 |

→国語・数学・理科、全て全国平均を上回っている。

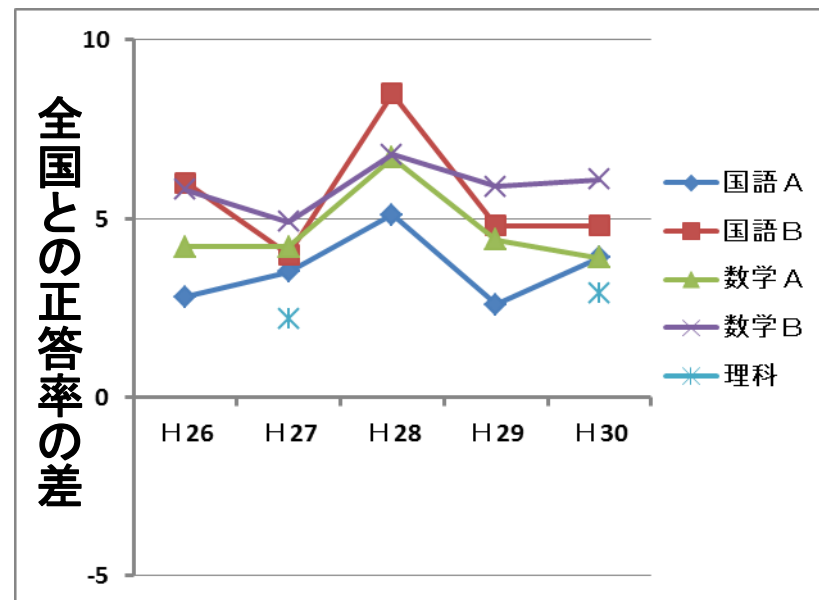
調査結果概況（経年比較）

小学6年生



平均正答率の全国平均との差は、縮まっており、昨年度と比較すると、国語A(知識)B(活用)共には2.7ポイント、算数A(知識)B(活用)共には1.5ポイント縮まっています。

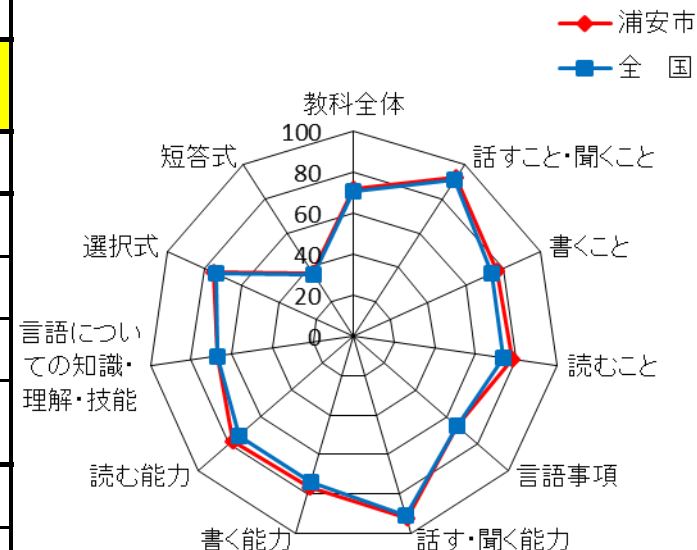
中学3年生



全国の平均正答率の全国平均との差は、国語A(知識)は3.5ポイント、国語B(活用)は4.9ポイント、数学A(知識)は3.9ポイント、数学B(活用)は、5.9ポイントです。

小学校6年 国語A(知識)

| | | 平均正答率 | | |
|-------|--------------------------|------------|-----------|-------------|
| | | 浦安市 (%) | 全国 (%) | 差 (ポイント) |
| 教科全体 | | 72 | 70.7 | 1.3 |
| 領域等 | 話すこと・聞くこと | 92.6 | 90.8 | 1.8 |
| | 書くこと | 76.9 | 73.8 | 3.1 |
| | 読むこと | 77.9 | 74.0 | 3.9 |
| | 伝統的な言語文化と 国語の特質に関する事項 | 66.9 | 67.0 | -0.1 |
| 評価の観点 | 話す・聞く能力 | 92.6 | 90.8 | 1.8 |
| | 書く能力 | 76.9 | 73.8 | 3.1 |
| | 読む能力 | 77.9 | 74.0 | 3.9 |
| | 言語についての知識・理解・技能 | 66.9 | 67.0 | -0.1 |
| 問題形式 | 選択式 | 74.9 | 73.9 | 1.0 |
| | 短答式 | 36.9 | 35.5 | 1.4 |



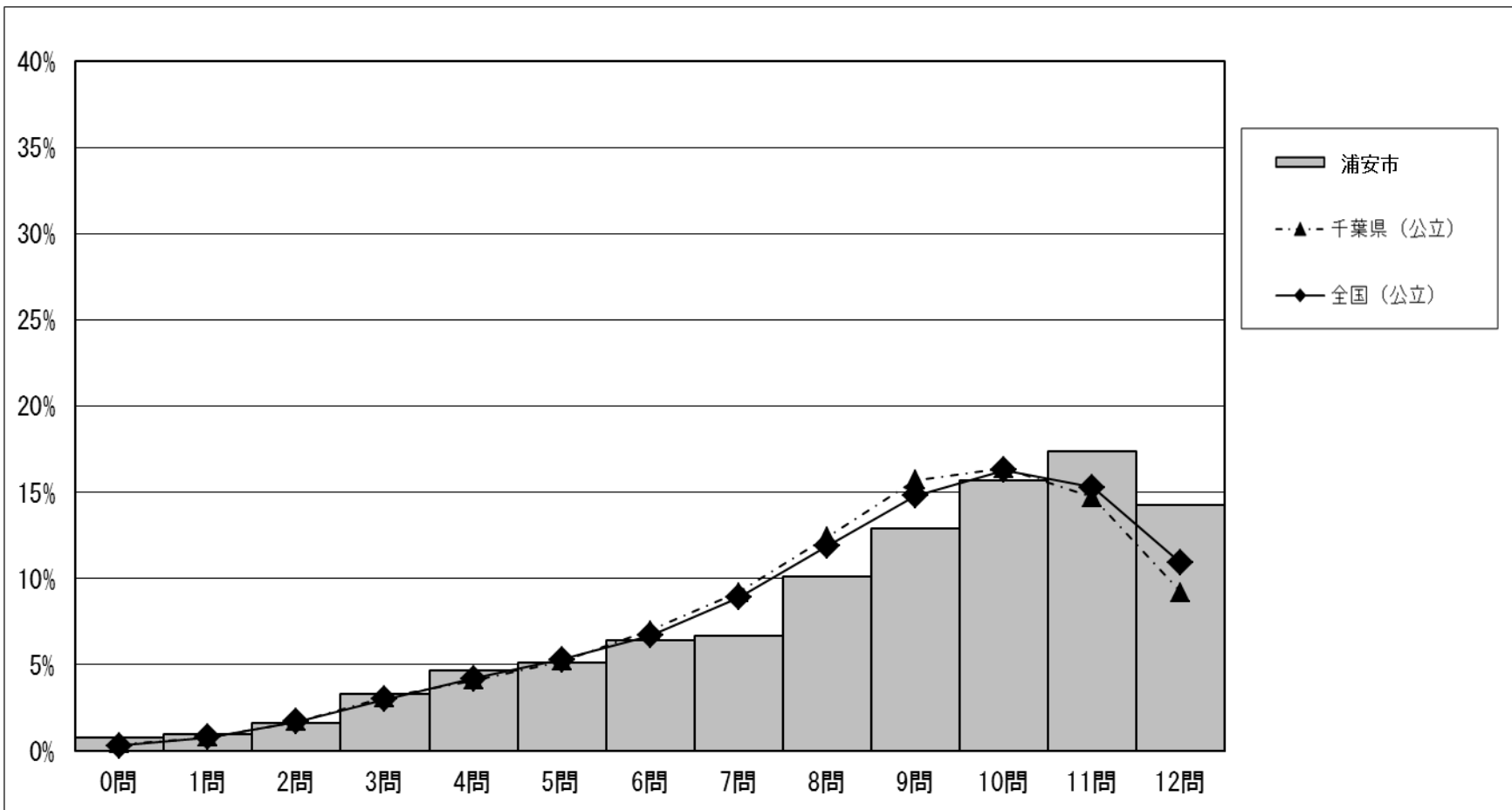
【春休みの出来事の一部】の中で、主語と述語のつながりが合っていない文を選択し、正しく書き直す
無解答率(%)

| | |
|-------|-----|
| 全国平均 | 3.9 |
| 浦安市平均 | 5.4 |

概要

全体の正答率は72%となっており、全国値を1.3ポイント上回っています。また、すべての観点においても、全国値と同等か上回っています。特に「読む能力」は全国値を3.9ポイント上回っています。

しかし、短答式の設定で、正答率が4割以下のものがあり、無回答率は5.4%でした。主語と述語の関係を確認し、手紙や実用的な文、スピーチ原稿など正しく書く必要性に迫られる学習場面を設定していくことが必要です。

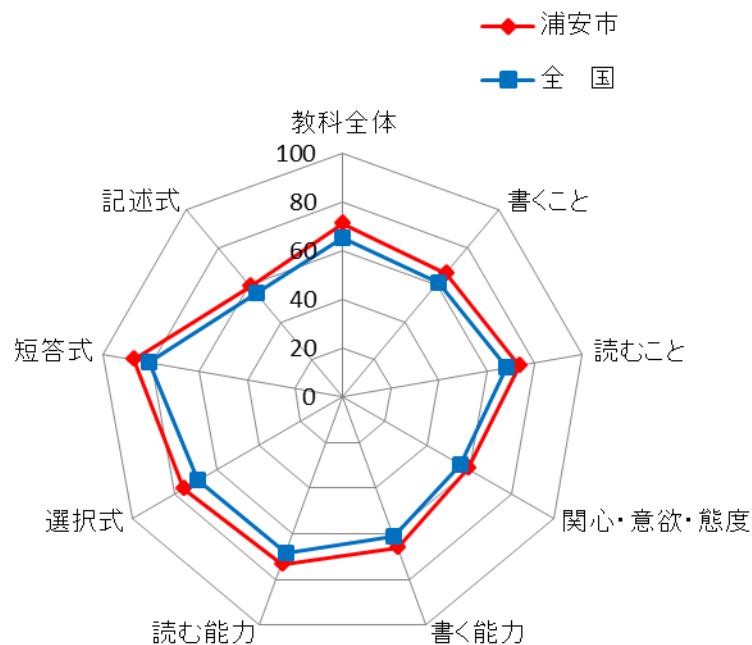


度数分布について

全国・千葉県と比べ、正答数が11問以上(正答率約92%以上)の児童の割合が多いことがわかります。正答数が0問～6問(正答率約50%以下)までの児童の割合は、全国や県とほぼ同じ状況です。

小学校6年 国語B(活用)

| | | 平均正答率 | | |
|-------|--------------|------------|------------|-------------|
| | | 浦安市 (%) | 全 国 (%) | 差 (ポイント) |
| 教科全体 | | 58 | 54.7 | 3.3 |
| 領域等 | 話すこと・聞くこと | 68.1 | 64.6 | 3.5 |
| | 書くこと | 47.9 | 45.6 | 2.3 |
| | 読むこと | 56.1 | 50.8 | 5.3 |
| 評価の観点 | 国語への関心・意欲・態度 | 33.7 | 33.2 | 0.5 |
| | 話す・聞く能力 | 68.1 | 64.6 | 3.5 |
| | 書く能力 | 47.9 | 45.6 | 2.3 |
| | 読む能力 | 56.1 | 50.8 | 5.3 |
| 問題形式 | 選択式 | 73.4 | 67.6 | 5.8 |
| | 記述式 | 33.7 | 33.2 | 0.5 |



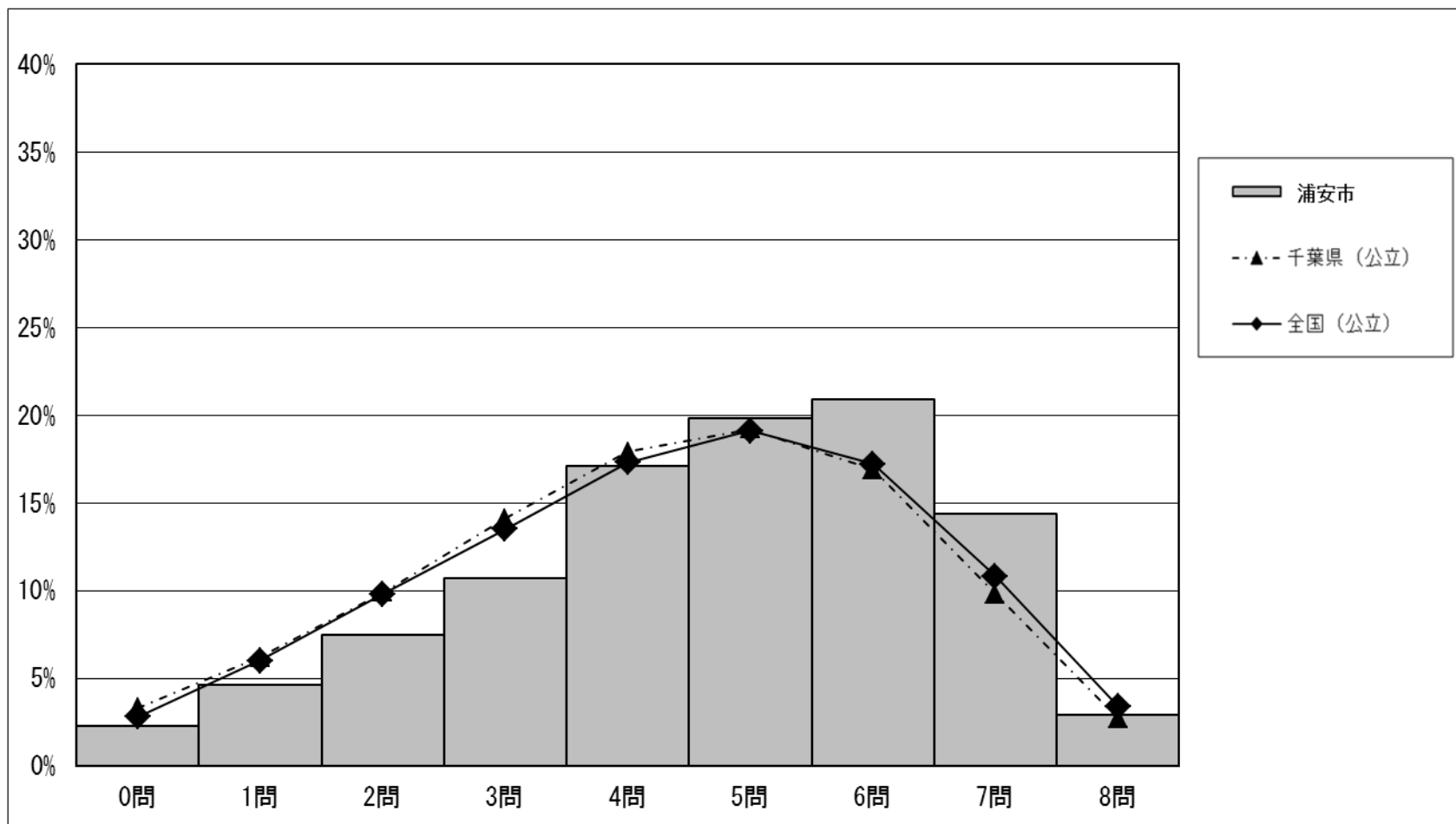
※全国値を5ポイント以上、上回るのものを で表示しています。

概要

全体の正答率は58%となっており、全国値を3.3ポイント上回っています。

領域・観点別にみると、おおむね全国値を上回っていますが、「国語への関心・意欲・態度」は全国値とほぼ同値で、他の観点より低い傾向にあります。

問題形式を見ると、選択式に比べ記述式の正答率が低くなっている点を踏まえ、日ごろの授業において、質問の条件を満たした文章や、自分の考えが相手に伝わるように「書くこと」が必要です。



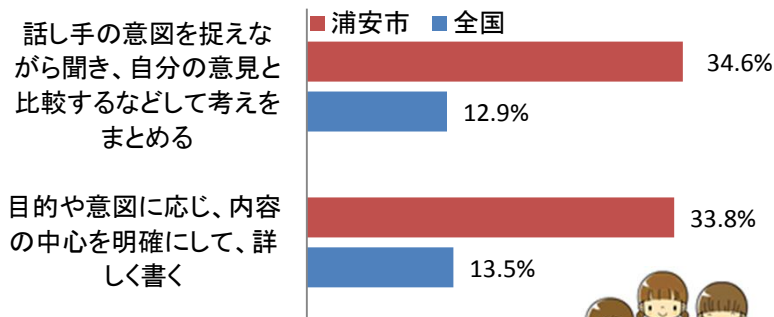
度数分布について

全国・千葉県と比べ、正答数が5問～7問の児童の割合が多いことがわかります。正答数が0問～3問(正答率約38%以下)までの児童の割合は、全国や県より少ないです。

<課題>

記述して意見を述べたり
答えたりする

「記述式の正答率の状況」



「文脈に即して漢字を正しく書く」正答率 (%)

| | 浦安 | 全国 |
|--------------|------|------|
| <u>せ</u> つ極的 | 48.0 | 51.4 |
| <u>かん</u> 理 | 65.3 | 65.5 |
| <u>せい</u> 造 | 74.2 | 73.4 |

<指導改善例>

【日常の取組】

○「書くこと」に興味を持って取組む児童の育成を目指しましょう

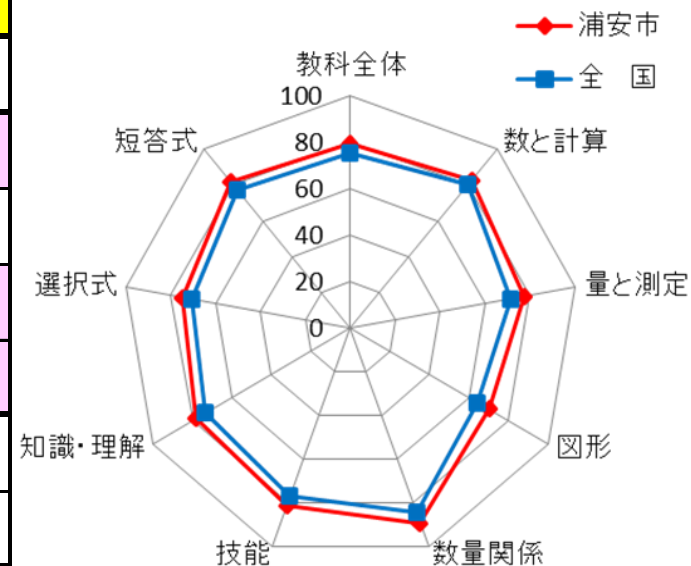
(例) 主語と述語に気を付けて書く指導
→物語文などを読む際、主語と述語のみ抜き出して読んでみると、主語の重要性をより理解し、自分の文章に生かすことができるようになります。

(例) 漢字の定着を図る指導
→事典や辞書を活用しながら類語や相違語などを調べたり、へんやつくりを意識しながら練習したりしながら漢字への興味を深め、学力の定着を図りましょう。

○「授業アイデア集」(国立教育政策研究所)などを活用し、書くことに慣れる指導を積み重ねましょう

小学校6年 算数A(知識)

| | | 平均正答率 | | |
|-------|-----------------|------------|------------|-------------|
| | | 浦安市 (%) | 全 国 (%) | 差 (ポイント) |
| 教科全体 | | 67 | 63.5 | 3.5 |
| 領域 | 数と計算 | 68.1 | 62.3 | 5.8 |
| | 量と測定 | 73.0 | 72.7 | 0.3 |
| | 図形 | 61.9 | 56.9 | 5.0 |
| | 数量関係 | 65.5 | 60.1 | 5.4 |
| 評価の観点 | 数量や図形についての技能 | 65.7 | 63.0 | 2.7 |
| | 数量や図形についての知識・理解 | 68.5 | 63.8 | 4.7 |
| 問題形式 | 選択式 | 65.5 | 61.8 | 3.7 |
| | 短答式 | 72.3 | 67.8 | 4.5 |

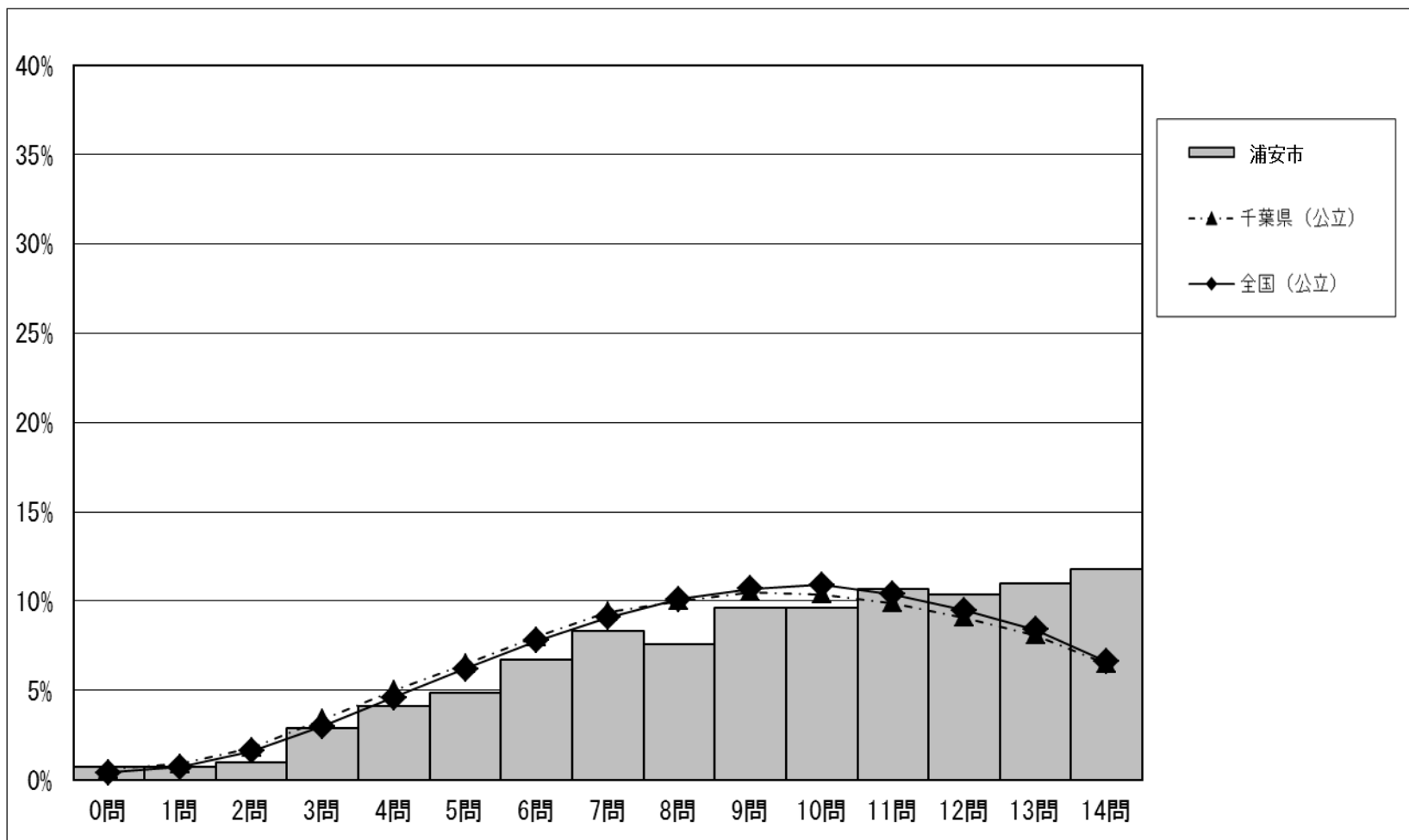


※全国値を5ポイント以上、上回るのものを で表示しています。

概要

全体の正答率は67%となっており、全国値を3.5ポイント上回っています。ほぼすべての領域及び観点において、全国値を上回っています。

「量と測定」の設問では、全国値とほぼ同等でした。作図の操作と図形の性質を関連付けて理解できるように指導することが大切です。

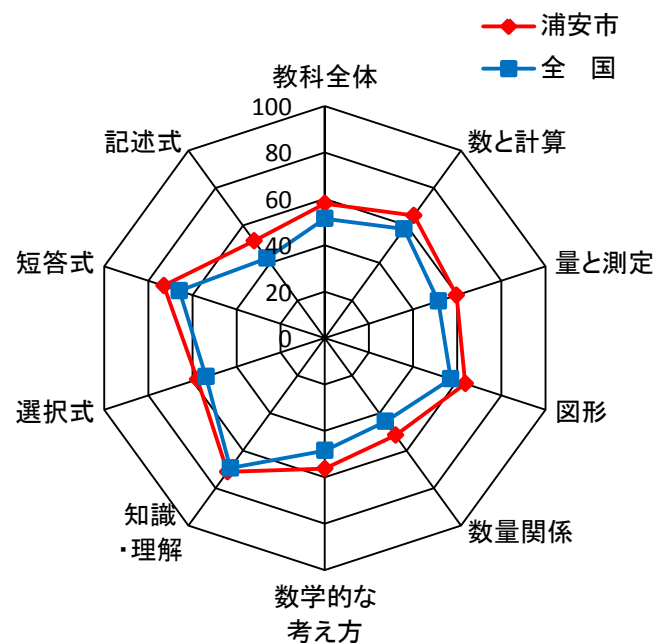


度数分布について

全国・千葉県と比べ、正答数が11～14問(正答率約79%以上)の児童の割合が多いことがわかります。正答数が0～4問(正答率約29%以下)の児童の割合は、全体の約9%です。

小学校6年 算数B(活用)

| | | 平均正答率 | | |
|-------|-----------------|------------|-----------|-------------|
| | | 浦安市 (%) | 全国 (%) | 差 (ポイント) |
| 教科全体 | | 58 | 51.5 | 6.5 |
| 領域 | 数と計算 | 65.3 | 58.4 | 6.9 |
| | 量と測定 | 59.7 | 52.4 | 7.3 |
| | 図形 | 63.7 | 59.9 | 3.8 |
| | 数量関係 | 51.8 | 45.1 | 6.7 |
| 評価の観点 | 数学的な考え方 | 56.3 | 49.2 | 7.1 |
| | 数量や図形についての知識・理解 | 71.3 | 71.7 | -0.4 |
| 問題形式 | 選択式 | 57.7 | 54.0 | 3.7 |
| | 短答式 | 73.0 | 66.6 | 6.4 |
| | 記述式 | 51.8 | 43.9 | 7.9 |



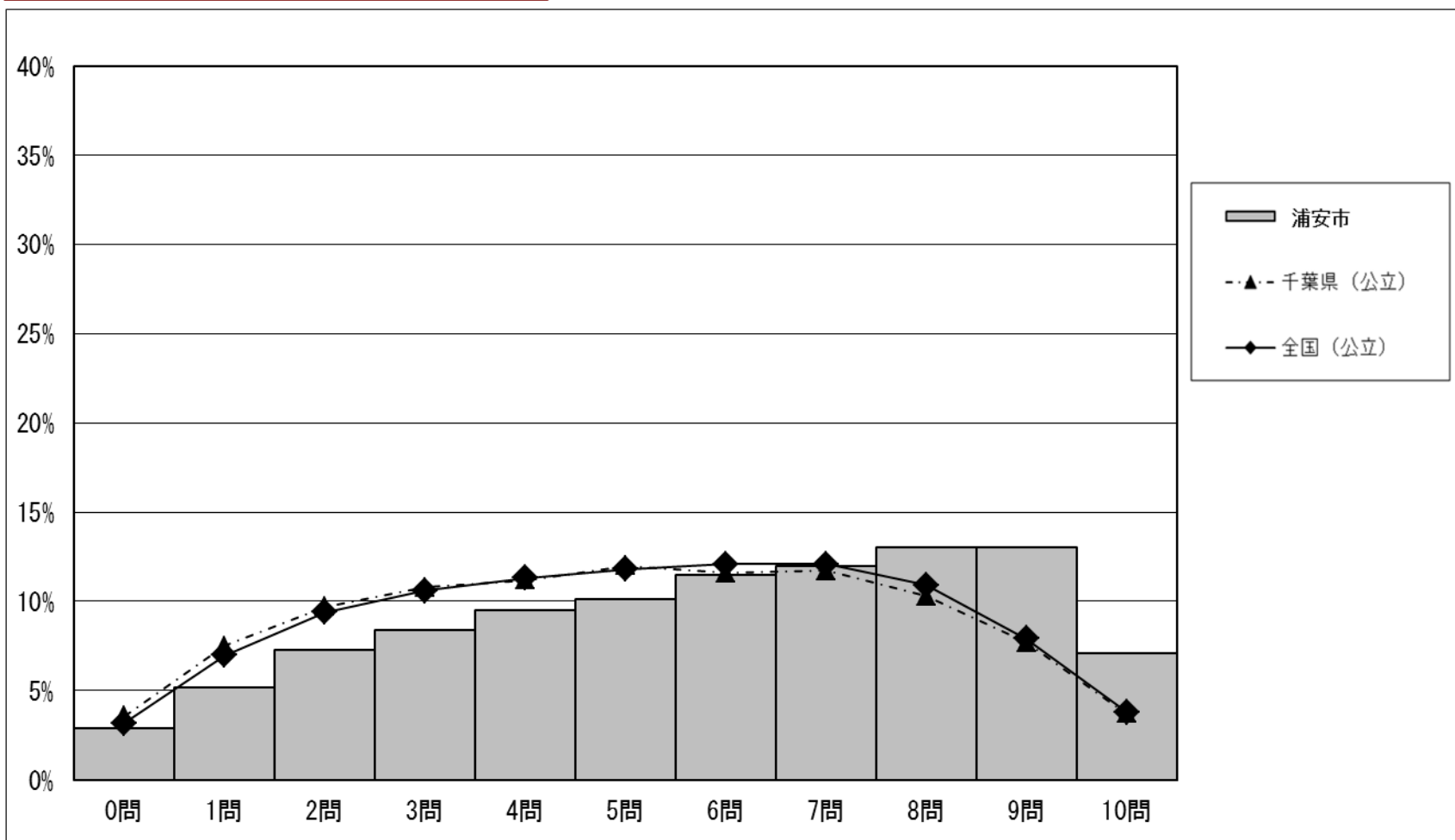
※全国値を5ポイント以上、上回るのものを で表示しています。

概要

全体の正答率は58%となっており、全国値を6.5ポイント上回っています。
 領域・観点においては、全国値をほぼ上回っています。しかし、観点「数量や図形についての知識・理解」は、全国値より0.4ポイント下回っています。

小学校6年 算数B(活用)

平成30年度正答数度数分布



度数分布について

全国・千葉県と比べ、正答数が8～10問(正答率約80%以上)の児童の割合が多いことがわかります。正答数が0問～3問(正答率約30%以下)の児童の割合は、全国・千葉県より少なく、約24%となっています。

<課題>

「グラフをよむ」力
「理由を説明する」力

教科全体の正答率は全国を上回るものの、算数B(活用)の数量関係の設問では正答率が約30%となっています。

記述式の設問に対する正答率が39.5%であり、「根拠を明確にして理由を説明する」力を養う必要があります。

| 設問 | 浦安市正答率 (全国正答率) |
|--|-------------------|
| グラフについて書かれたメモ1とメモ2は、それぞれ、どのようなことに着目して書かれているのかを記述する | 28.0% (20.7%) |
| 棒グラフと帯グラフを統合して読み取れる内容について当てはまるものを選ぶ | 30.6% (23.9%) |

<指導改善例>

【日常の取組】

○「グラフをよむ」力を育てる活動

- ・グラフはある事柄を視覚化していることから、その「関係」、「規則」、「傾向」をよみとる。
- ・グラフが表現していることの「主題」(何を伝えたいのか)をよみとる。

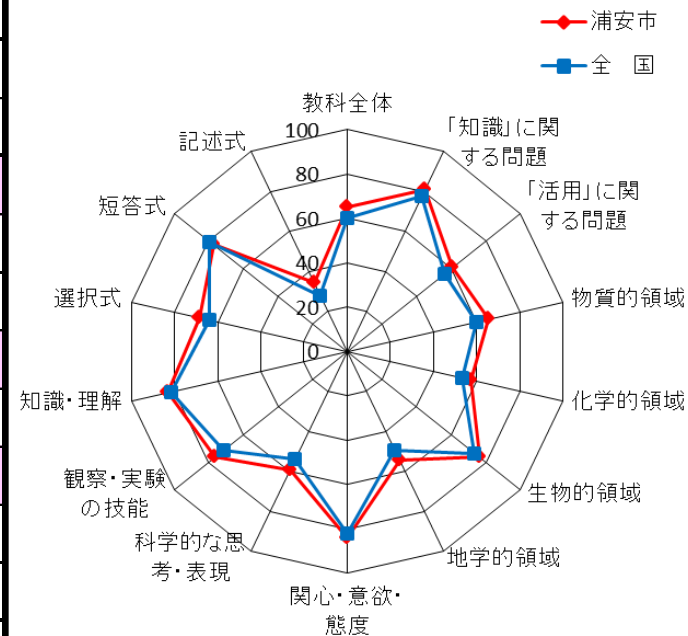
○「理由を説明する」力を育てる活動

- ・児童の問題意識や主体性が高まる課題設定をする。
- ・問題解決に必要な情報を収集し、その共通点から理由となる根拠を明確にする。
- ・話し手に対し、必要に応じて「言い直し」「つけたし」等を促す。
- ・「なぜそういえるのか」「もっとくわしく」など問い返し、話し合う場を設ける。

【学年や学校全体での取組】

- 日常の事象と、算数を関連付けて考える活動
- すべての授業における、学習規範の確立
聞き方・話し方ルール

| 小学校6年 理科 | | | 平均正答率(%) | | |
|----------|----------------|-------|------------|------------|-------------|
| | | | 浦安市 (%) | 全 国 (%) | 差 (ポイント) |
| 教科全体 | | | 65 | 60.3 | 4.7 |
| 枠組み | 主として「知識」に関する問題 | | 81.0 | 78.0 | 3.0 |
| | 主として「活用」に関する問題 | | 61.0 | 56.2 | 4.8 |
| 区分等 | A区分 | 物質 | 65.4 | 59.8 | 5.6 |
| | | エネルギー | 57.5 | 53.1 | 4.4 |
| | B区分 | 生命 | 76.5 | 73.6 | 2.9 |
| | | 地球 | 54.6 | 49.5 | 5.1 |
| 評価の観点 | 自然事象への関心・意欲・態度 | | 84.3 | 82.1 | 2.2 |
| | 科学的な思考・表現 | | 59.4 | 54.1 | 5.3 |
| | 観察・実験の技能 | | 76.1 | 71.1 | 5.0 |
| | 自然事象についての知識・理解 | | 82.8 | 81.5 | 1.3 |
| 問題形式 | 選択式 | | 68.6 | 63.8 | 4.8 |
| | 短答式 | | 77.2 | 79.4 | -2.2 |
| | 記述式 | | 34.6 | 28.0 | 6.6 |



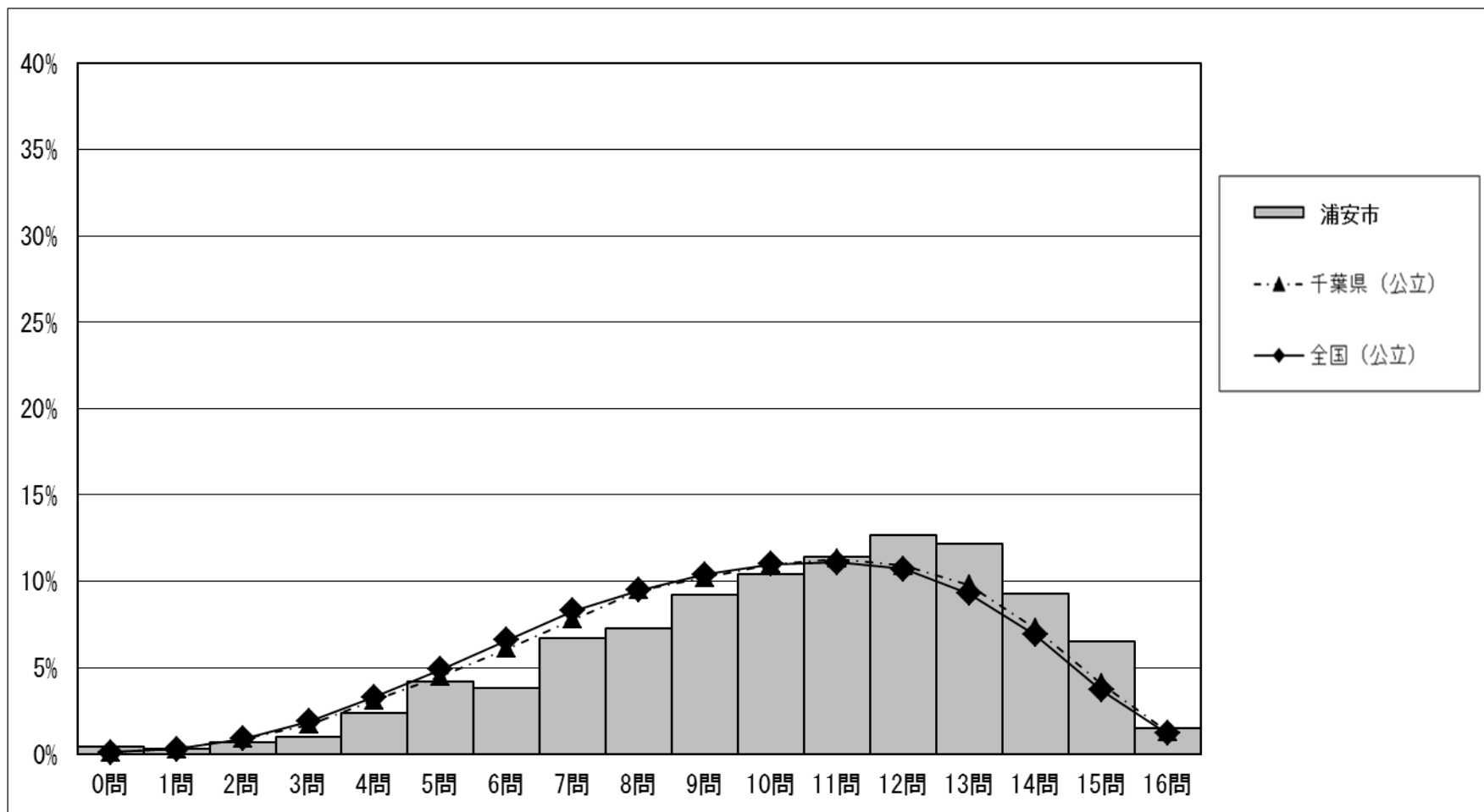
※全国値を5ポイント以上、上回るのものを で表示、
1ポイント以上、下回るのものを で表示しています。

概要

全体の正答率は65%となっており、全国値を4.7ポイント上回っています。その中、平均正答率が低いのは、「A区分 エネルギー」「B区分 地球」、評価の観点は「科学的な思考・表現」、問題形式は「記述式」です。これは、浦安市だけでなく全国的にも同様にみられる傾向です。

小学校6年 理科

平成30年度正答数度数分布



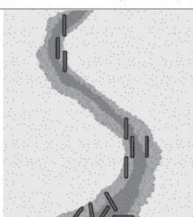
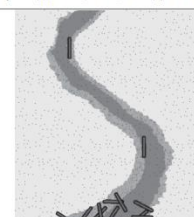
度数分布について

全国・千葉県と比べ正答数が11問～16問(正答数69%以上)の児童の割合が多いです。全国の平均正答数が9.7問であることを考えると、浦安市の正答数が高いことがわかります。正答数5問(正答率31%以下)の児童の割合は、全国・千葉県と同程度となっています。

<課題>

問題解決の力を育成
(分析して考察した内容の記述)

設問2(3)「実験結果を基に、分析して考察した内容の記述をみる」設問における正答率が、**全国平均値と同様に低くな**っています。

| 実験結果 | |
|---|---|
| 1本のペットボトルの水を流したときの棒のようす | 2本のペットボトルの水を同時に流したときの棒のようす |
|  |  |

(3) 上の実験の結果から、川を流れる水の量が増えると、川の曲がっているところの外側と内側の地面のけずられ方は、どのようになると考えられますか。下の **1** から **4** までの中から1つ選んで、その番号を書きましよう。また、その番号を選んだわけを実験結果の「水の量」と「棒のようす」がわかるようにして書きましよう。

- 1 外側も内側もけずられる。
- 2 外側も内側もけずられない。
- 3 外側だけがけずられる。
- 4 内側だけがけずられる。

正答率・・・26.3%(浦安市) 20.1%(全国)

<指導改善例>

【具体的な取組】

○問題解決の過程が表現できるノート指導

<考えの根拠となる事実を明確にするための板書例>

問題
曲がった川は一度に流れる水の量が増えると、地面のようすはどのように変わるのだろうか。



一度に流す水の量とたおれたぼうの数

| ペットボトル | 上流 | | 下流 | |
|--------|----|----|----|----|
| | 内側 | 外側 | 内側 | 外側 |
| 1本 | 0本 | 3本 | 0本 | 2本 |
| 2本同時 | 2本 | 3本 | 2本 | 3本 |

○予想 _____

○実験方法 _____

○実験結果

| 1本のペットボトルの水を流したときのぼうのようす | 2本のペットボトルの水を同時に流したときのぼうのようす |
|--|---|
|  |  |

○分かったこと _____

○まとめ _____

○ICTの活用

例) タブレット端末で動画を撮影し、分析と考察を繰り返し行える環境作り

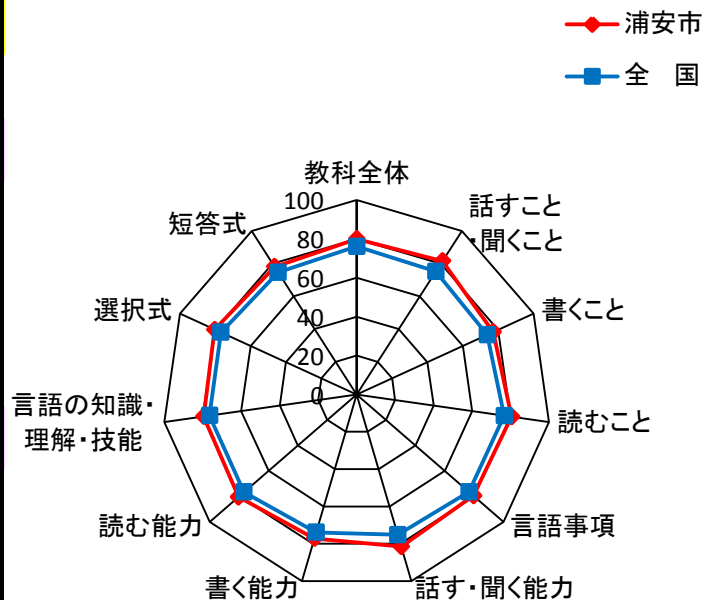
○多様な言語活動

例) 記録や実験データを、図、表、グラフなど多様な形式で表すことによる言語活動の充実

○問題解決の過程(事象提示→予想→実験・観察→結果→考察→まとめ→活用)の、どこに重点を置くのか、指導計画上に位置付ける

中学校3年 国語A(知識)

| | | 平均正答率 | | |
|-------|--------------------------|------------|------------|-------------|
| | | 浦安市 (%) | 全 国 (%) | 差 (ポイント) |
| 教科全体 | | 80 | 76.1 | 3.9 |
| 領域等 | 話すこと・聞くこと | 81.6 | 75.2 | 6.4 |
| | 書くこと | 77.2 | 73.9 | 3.3 |
| | 読むこと | 80.5 | 76.7 | 3.8 |
| | 伝統的な言語文化と 国語の特質に関する事項 | 79.5 | 76.5 | 3.0 |
| 評価の観点 | 話す・聞く能力 | 81.6 | 75.2 | 6.4 |
| | 書く能力 | 77.2 | 73.9 | 3.3 |
| | 読む能力 | 80.5 | 76.7 | 3.8 |
| | 言語についての知識・理解・技能 | 79.5 | 76.5 | 3.0 |
| 問題形式 | 選択式 | 80.3 | 76.8 | 3.5 |
| | 短答式 | 78.1 | 74.7 | 3.4 |



※全国値を5ポイント以上、上回るのものを で表示しています。

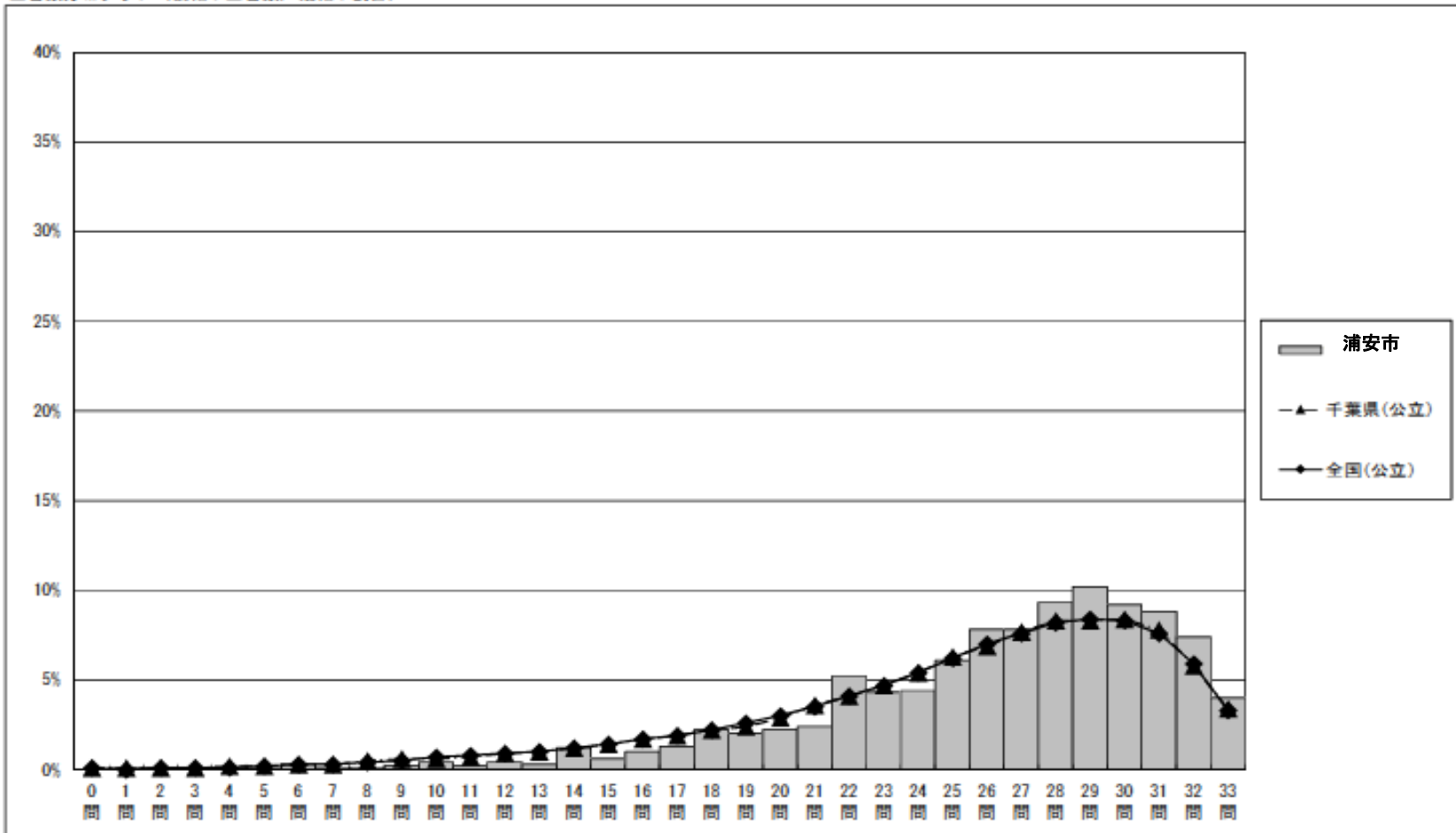
概要

全体の正答率は80%となっており、全国値を3.9ポイント上回っています。「話すこと・聞くこと」「書くこと」については、全国値を5ポイント以上上回りました。「言語についての知識・理解・技能」については、全国値を3.0ポイント上回り、昨年と同程度です。今後も、漢字の読み書きや語句の意味について、実際に使いながら身に付けていくことが必要です。

中学校3年 国語A(知識)

平成30年度正答数度数分布

正答数分布グラフ (横軸: 正答数, 縦軸: 割合)



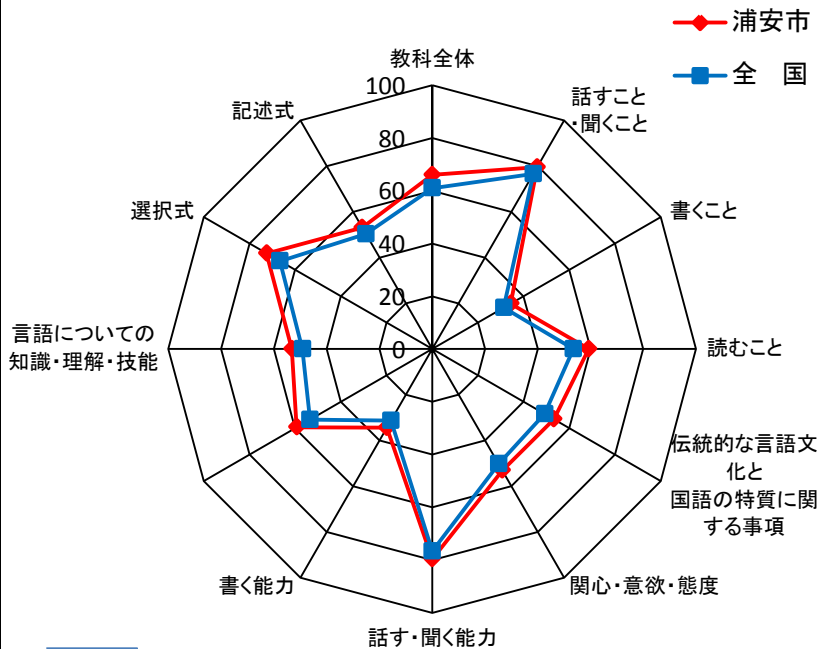
度数分布について

全国・千葉県と比べ、正答数が22問・26問・28問～33問(正答率約85%以上)の生徒の割合が多いことがわかります。

正答数が0問～18問(正答率約55%以下)までの生徒の割合は、全国や県とほぼ同じ状況です。

中学校3年 国語B(活用)

| | | 平均正答率 | | |
|-------|----------------------|---------|--------|----------|
| | | 浦安市 (%) | 全国 (%) | 差 (ポイント) |
| 教科全体 | | 66 | 61.2 | 4.8 |
| 領域等 | 話すこと・聞くこと | 79.6 | 76.6 | 3.0 |
| | 書くこと | 34.4 | 31.3 | 3.1 |
| | 読むこと | 59.3 | 53.5 | 5.8 |
| | 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 | 53.2 | 49.2 | 4.0 |
| 評価の観点 | 国語への関心・意欲・態度 | 53.1 | 50.3 | 2.8 |
| | 話すこと・聞くこと | 79.6 | 76.6 | 3.0 |
| | 書く能力 | 34.4 | 31.3 | 3.1 |
| | 読む能力 | 59.3 | 53.5 | 5.8 |
| | 言語についての知識・理解・技能 | 53.2 | 49.2 | 4.0 |
| 問題形式 | 選択式 | 72.5 | 66.7 | 5.8 |
| | 記述式 | 53.1 | 50.3 | 2.8 |



| | |
|--|------|
| 「天地無用」という言葉を誤った意味で解釈してしまう人がいる理由を書く 正答率(%) | |
| 全国平均 | 13.3 |
| 浦安市平均 | 15.6 |

※全国値を5ポイント以上、上回るものを で表示しています。

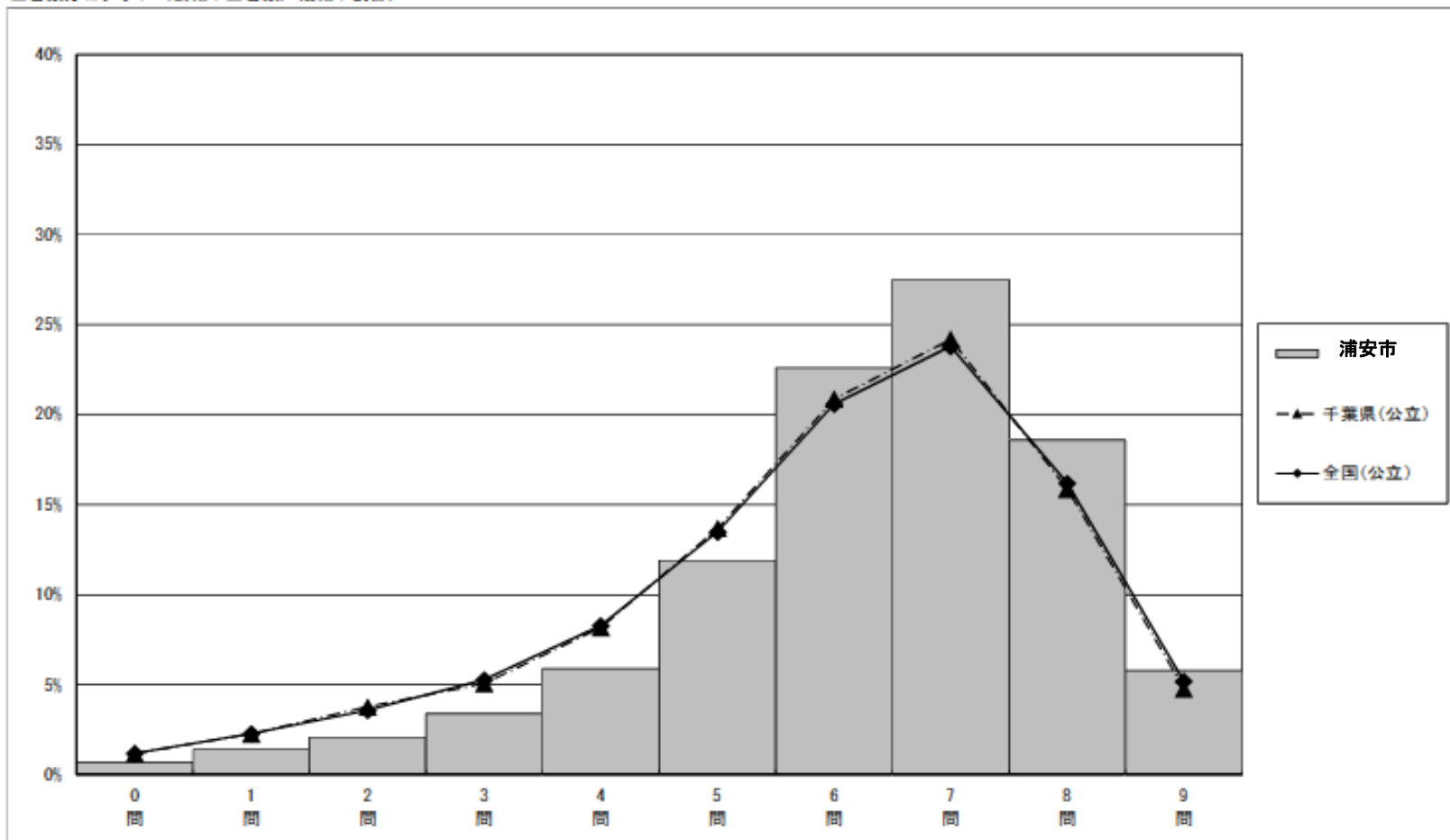
概要

全体の正答率は66%となっており、全国値を4.8ポイント上回っています。領域別にみると、「書くこと」が全国と同様に4割以下となっています。記述式の正答率は、53.1%で低いです。

中学校3年 国語B(活用)

平成30年度正答数度数分布

正答数分布グラフ（横軸：正答数、縦軸：割合）



度数分布について

全国・千葉県と比べ、正答数が6問～9問（正答率約65%以上）の生徒の割合が多いことがわかります。正答数が0問～3問（正答率約30%以下）の生徒も分布している状況です。

<課題>

言語についての知識・理解

教科全体や観点別の正答率は全国を上回るものの、「言語についての知識・理解」では、**正答率が全国を下回る**問題や、**無解答率が1割を上回る**問題がありました。



約8割の生徒が正答していますが、約1割から2割弱が無回答です。



書く「漢字」の正答率 (%)

| | 全国 | 浦安 | 無回答 |
|----------------|------|------|------|
| <u>タバ</u> ねる | 79.0 | 82.1 | 13.2 |
| <u>マク</u> が上がる | 72.9 | 82.8 | 14.4 |
| <u>ユル</u> す | 71.4 | 76.1 | 19.5 |

<指導改善例>

【日常の取組】

○語彙を増やすために言葉を知り、言葉を使う楽しさを感じさせる指導を行いましょう

→単に語彙数を増やすのではなく、言葉を知る楽しさや言葉の持つ豊かさを感じ取らせるために日頃より「言葉集め(仮)」を行い、教師や生徒同士で集めた言葉を互いに認めあう活動に取組んでいきましょう。

【学年や学校全体での取組】

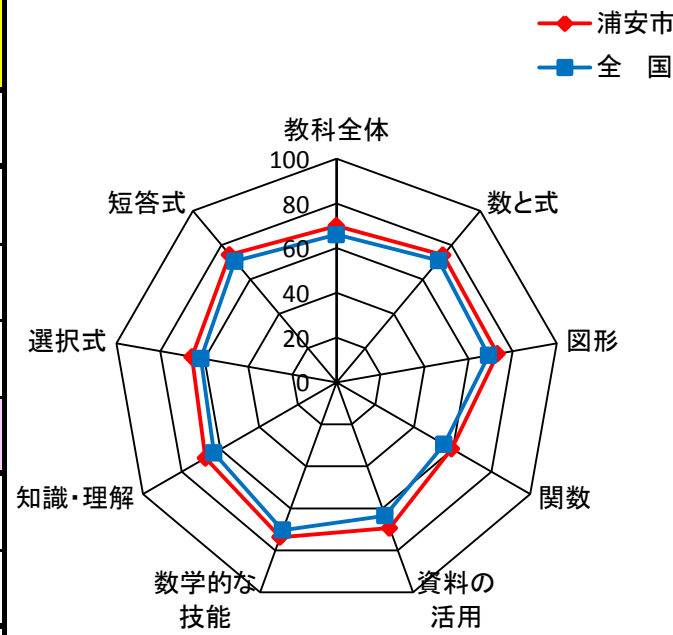
○様々な場面で習得した語彙を活用する意識を育てましょう

→国語の時間だけでなく、国語で学んだことを他教科でも生かす視点を学校内で共有し、国語の教科書巻末の「理解や表現に役立つ言葉」などを用いて習得した語彙を活用する機会を多く取り入れましょう。

○「授業アイデア例」(国立教育政策研究所)などを活用し、生徒自身が意欲的に取組むことができる言語活動の充実を図りましょう

中学校3年 数学A(知識)

| | | 平均正答率 | | |
|-------|-----------------|------------|-----------|-------------|
| | | 浦安市 (%) | 全国 (%) | 差 (ポイント) |
| 教科全体 | | 70 | 66.1 | 3.9 |
| 領域 | 数と式 | 74.2 | 71.1 | 3.1 |
| | 図形 | 73.1 | 69.1 | 4.0 |
| | 関数 | 59.5 | 55.5 | 4.0 |
| | 資料の活用 | 69.4 | 63.5 | 5.9 |
| 評価の観点 | 数学的な技能 | 73.7 | 70.4 | 3.3 |
| | 数量や図形についての知識・理解 | 67.7 | 63.3 | 4.4 |
| 問題形式 | 選択式 | 65.6 | 61.5 | 4.1 |
| | 短答式 | 74.4 | 70.7 | 3.7 |



※全国値を5ポイント以上、上回るのものを で表示しています。

概要

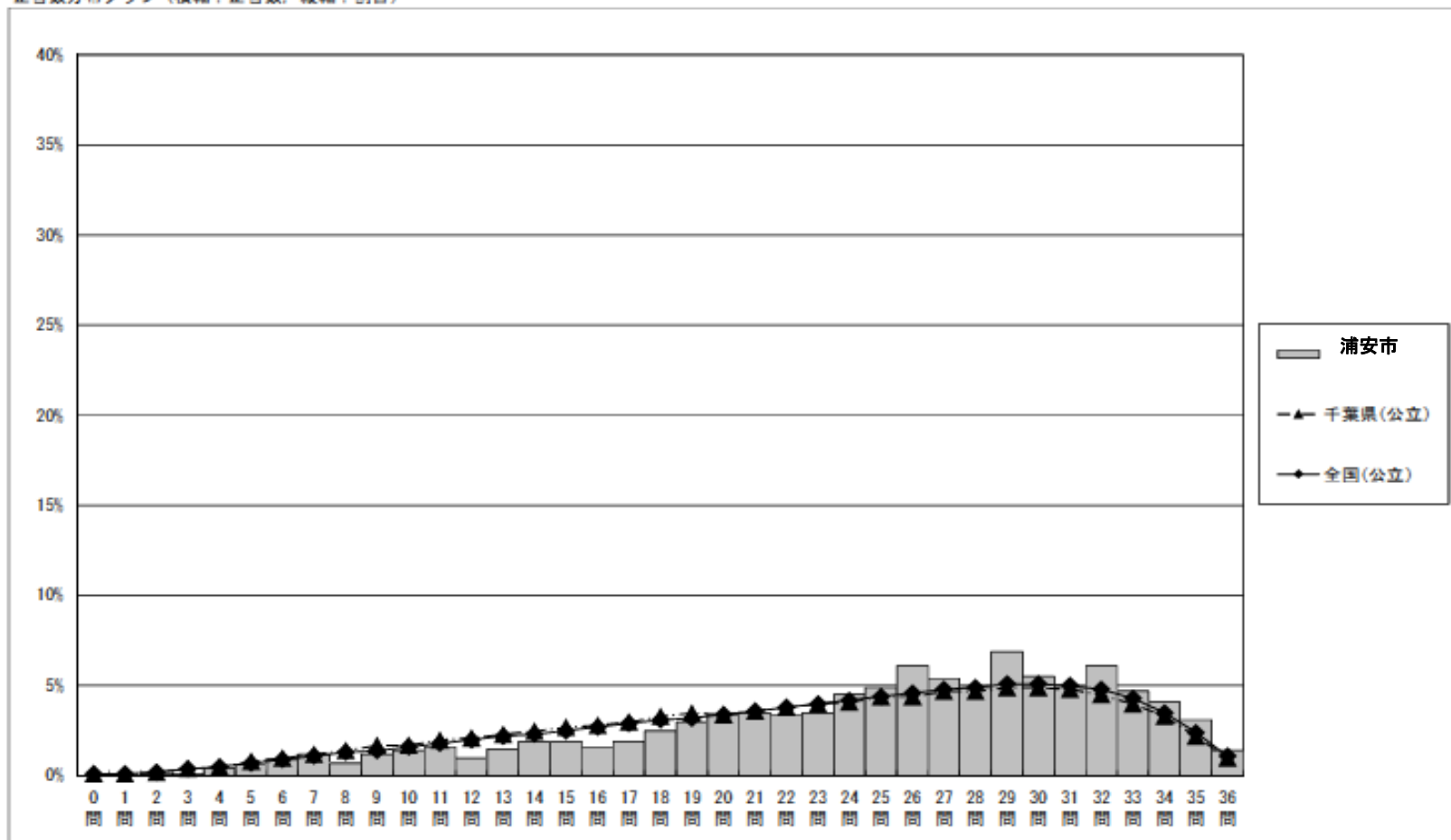
全体の正答率は70%となっており、全国値を3.9ポイント上回っています。また、すべての領域・観点において全国値を上回っています。

「数と式」領域の「加減乗除を含む正の数と負の数の計算のきまりにしたがって計算すること」が全国平均を下回っていることなどから、これらの領域でのよりきめ細かな指導が必要です。

中学校3年 数学A(知識)

平成30年度正答数度数分布

正答数分布グラフ (横軸: 正答数, 縦軸: 割合)



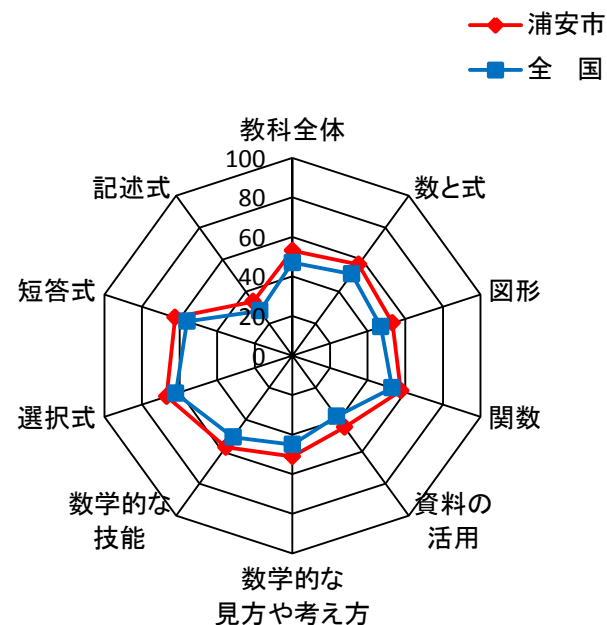
度数分布について

全国・千葉県と比べ、正答数が26問・29～36問(正答率約80%以上)の生徒の割合が多いことがわかります。

0～11問(正答率約31%未満)の生徒の割合は、全国や県とほぼ同じ状況です。

中学校3年 数学B(活用)

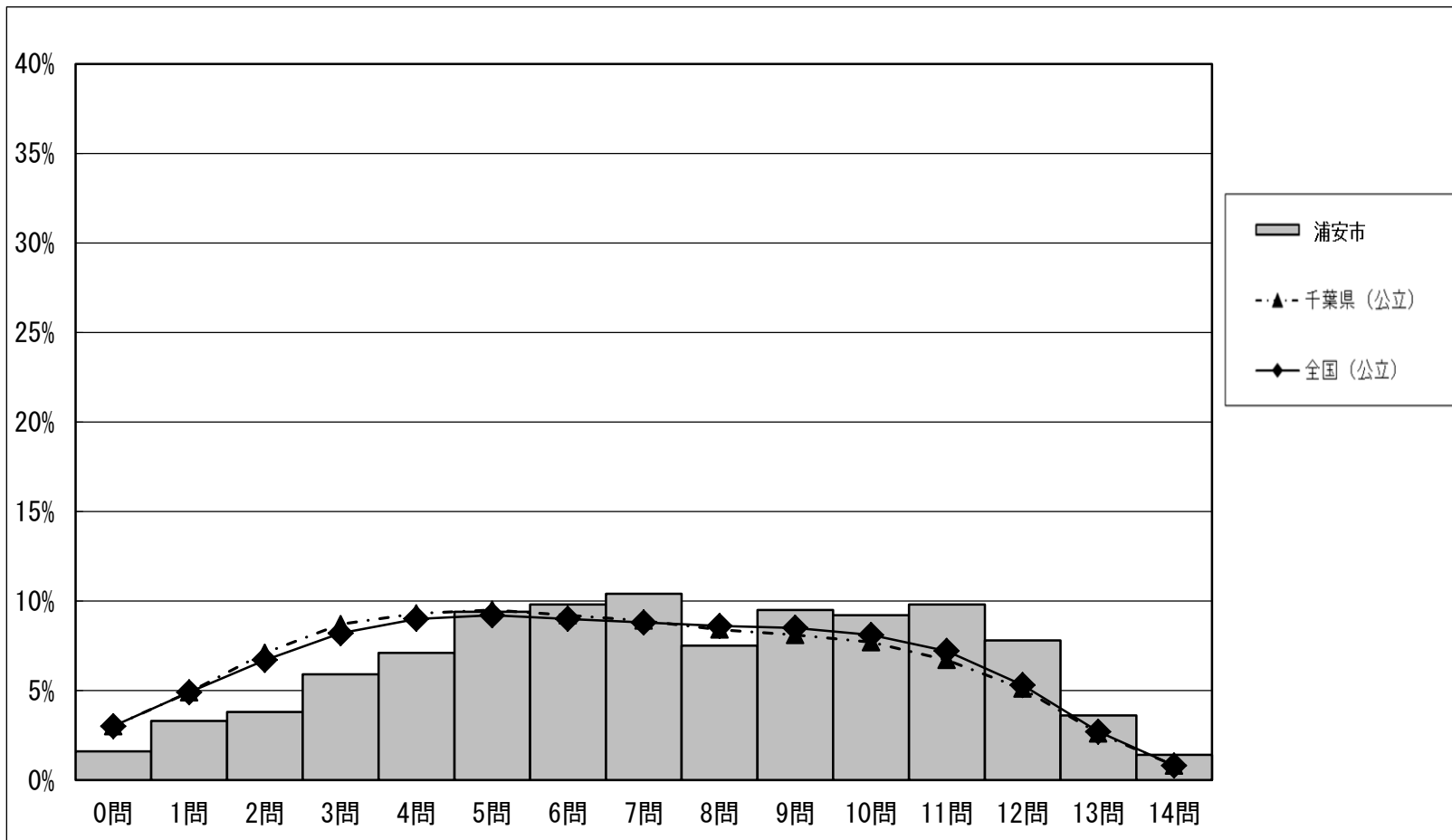
| | | 平均正答率 | | |
|-------|------------|------------|-----------|-------------|
| | | 浦安市 (%) | 全国 (%) | 差 (ポイント) |
| 教科全体 | | 53 | 46.9 | 6.1 |
| 領域 | 数と式 | 57.0 | 51.4 | 5.6 |
| | 図形 | 53.2 | 46.7 | 6.5 |
| | 関数 | 57.7 | 52.8 | 4.9 |
| | 資料の活用 | 44.8 | 38.0 | 6.8 |
| 評価の観点 | 数学的な見方や考え方 | 51.1 | 45.1 | 6.0 |
| | 数学的な技能 | 57.3 | 51.3 | 6.0 |
| 問題形式 | 選択式 | 66.9 | 61.5 | 5.4 |
| | 短答式 | 62.4 | 56.2 | 6.2 |
| | 記述式 | 33.8 | 27.9 | 5.9 |



※全国値を5ポイント以上、上回るのものを で表示しています。

概要

全体の正答率は53%となっており、全国値を6.1ポイント上回っています。また、領域「図形」「資料の活用」では、全国値を6.5～6.8ポイント上回る結果となっています。しかし、領域「関数」において課題があります。問題形式が「短答式」である場合の正答率が、全国値を6.2ポイント上回っています。



度数分布について

全国・千葉県と比べ、正答数が9～14問(正答率約64%以上)の生徒の割合が多いものの、正答数が4問以下(正答率約29%以下)の生徒が、約22%います。

<課題>

数学的な見方・考え方の育成

数学B(活用)において、正答率53%と全国よりも上回っています。しかし、正答率が20%を下回る設問もあり、数学的な見方・考え方を育成する必要が課題として挙げられます。

| 設問 | 浦安市正答率 (全国正答率) |
|--|-------------------|
| A駅からの道のりが6kmの地点において、列車Aが通ってから列車Bが通るまでの時間をグラフから求める方法を説明する。 | 17.0% (13.2%) |
| 通常料金をaとしたときの団体料金の10人分が通常料金の何人分にあたるかを求める計算からわかることを選び、その理由を説明する。 | 14.5% (10.4%) |

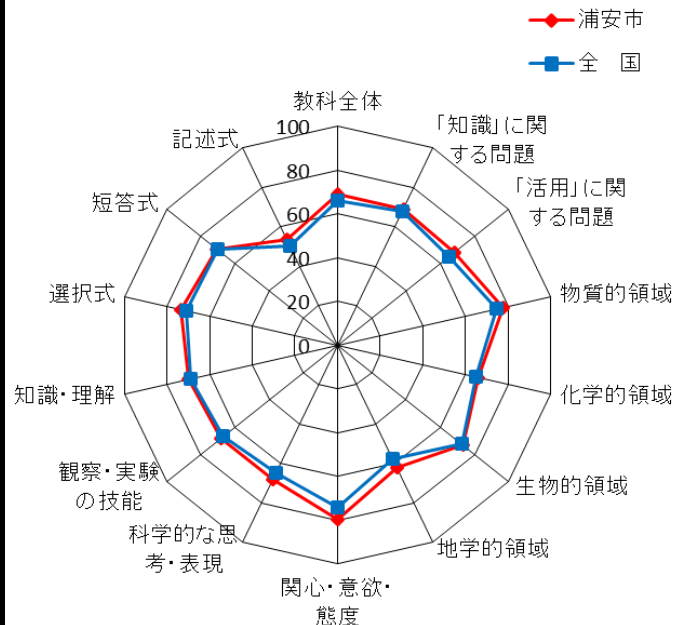
<指導改善例>

【日常の取組】

- 数学的に考察して説明する活動
 - ・自分の考えをまとめ、説明する中で、問題解決の過程を振り返って考える。
 - ・「●●であるから、△△である」のように、根拠と成り立つ事柄を明確に説明する。
 - 生徒自身が問題を作る活動
 - ・問題解決の過程を振り返り、文字や式を活用し論理的に表現する。
 - ・事象における条件を変えて、新たな問題を作ることで、思考を深める。
 - 数学的活動の楽しさや数学のよさを実感し、日々の生活に生かす活動
 - ・日常の生活の中から数学的な課題を捉え、論理的に解決する(例:図書室利用状況など)。
 - 指導資料の活用
 - ・「ちばのやる気」学習ガイド(千葉県教育委員会発行)
 - ・「授業アイデア例」(国立教育政策研究所発行)
- 【教科横断的な考え方】
- 他教科などで
 - ・成分の含有量(家庭科)や為替レートでの経済状況(社会科)など、数学と他教科との関わりを意識し、更に豊かな考え方を身に付ける。

中学校3年 理科

| | | 平均正答率(%) | | | |
|-------|----------------|------------|------------|-------------|-----|
| | | 浦安市 (%) | 全 国 (%) | 差 (ポイント) | |
| 教科全体 | | 69 | 66.1 | 2.9 | |
| 枠組み | 主として「知識」に関する問題 | 69.0 | 67.9 | 1.1 | |
| | 主として「活用」に関する問題 | 68.0 | 64.9 | 3.1 | |
| 分野等 | 第1分野 | 物理的領域 | 77.8 | 74.4 | 3.4 |
| | | 化学的領域 | 66.1 | 65.0 | 1.1 |
| | 第2分野 | 生物的領域 | 73.2 | 72.5 | 0.7 |
| | | 地学的領域 | 62.3 | 57.8 | 4.5 |
| 評価の観点 | 自然事象への関心・意欲・態度 | | 79.5 | 74.0 | 5.5 |
| | 科学的な思考・表現 | | 68.3 | 64.9 | 3.4 |
| | 観察・実験の技能 | | 68.3 | 67.0 | 1.3 |
| | 自然事象についての知識・理解 | | 69.9 | 68.7 | 1.2 |
| 問題形式 | 選択式 | | 73.4 | 70.9 | 2.5 |
| | 短答式 | | 70.6 | 70.2 | 0.4 |
| | 記述式 | | 53.7 | 50.1 | 3.6 |



※全国値を5ポイント以上、上回るのものを で表示しています。

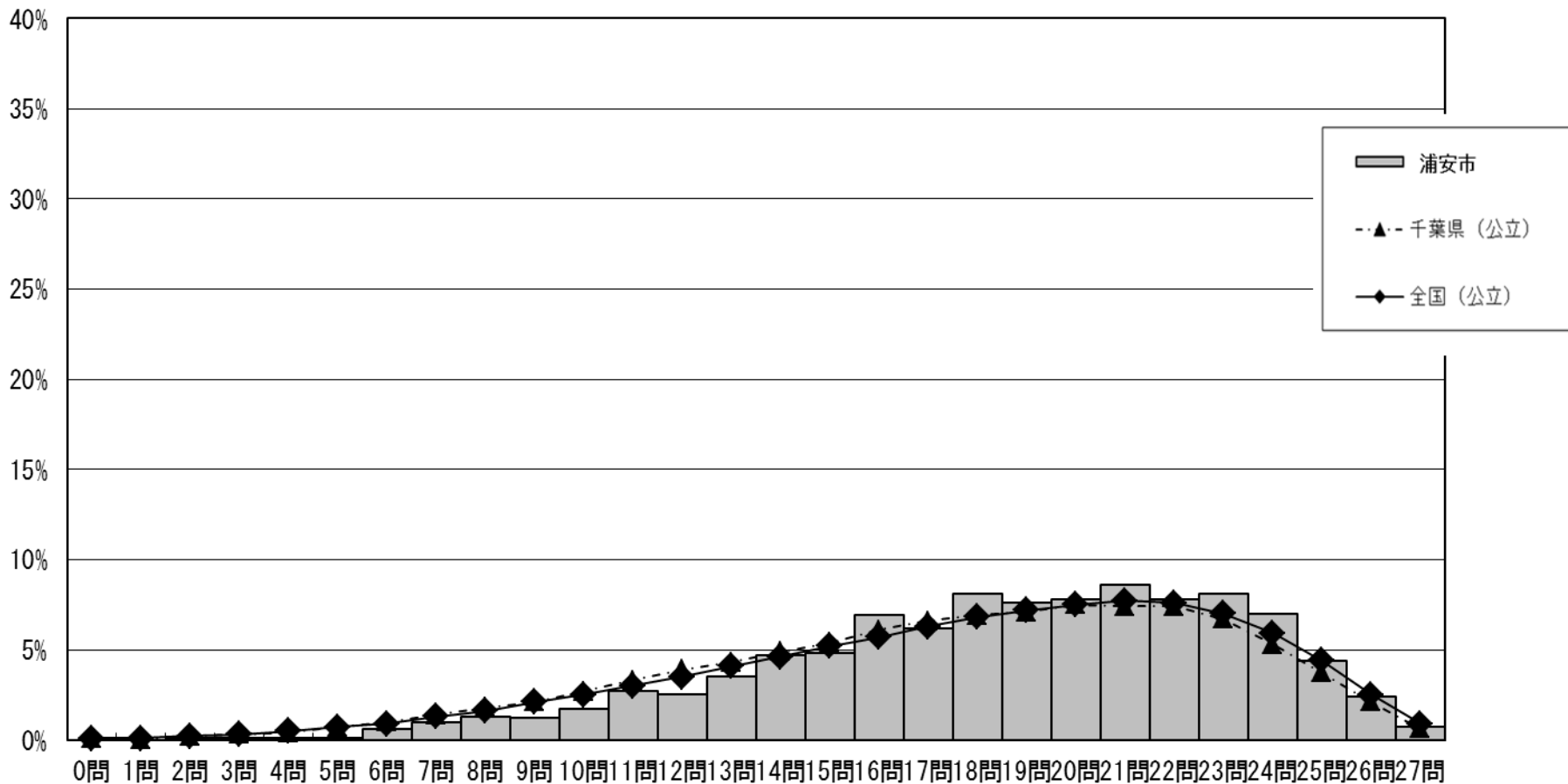
概要

全体の正答率は69%となっており、全国値を2.9ポイント上回っています。また、すべての分野・観点において全国値を上回っており、特に「自然事象への関心・意欲・態度」については全国平均を5.5ポイント上回っています。

設問別にみると、全国値を下回っている設問が3問あり、その多くが、主として「知識」に関する問題となっています。水溶液の濃度の計算や、神経の名称、原子記号など、実験や観察中及びまとめの中で意識して使用する場面を増やすなど、基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得する指導が望まれます。

中学校3年 理科

平成30年度正答数度数分布



度数分布について

全国・千葉県と比べ、正答数が18～24問(正答率約67%～89%)の生徒の割合が多いことがわかります。

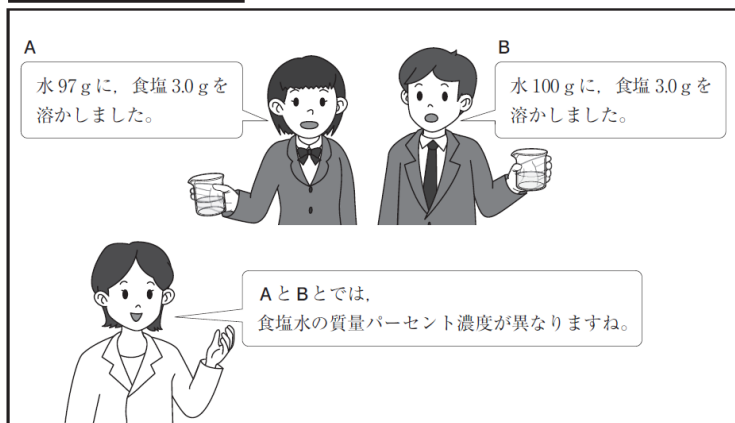
25～27問(正答率約92%以上)の生徒の割合は、全国や県とほぼ同じ状況です。

<課題>

知識・技能の確実な習得

設問(2)「濃度が異なる食塩水のうち、特定の質量パーセント濃度のものを指摘するかどうかを見る」設問における正答率が、**全国平均値に比べて低くなっています。**

3%の食塩水をつくる場面



(2) 食塩水の質量パーセント濃度が低いものを、上のA、Bの中から1つ選びなさい。
また、食塩水の質量パーセント濃度が3.0%のものを、上のA、Bの中から1つ選びなさい。⇒正答はA

正答率・・・43.3%(浦安市) 46.9%(全国)

<指導改善例>

【具体的な取組】

○濃度に関する知識・技能が必要な場面を設定し、繰り返し活用する。

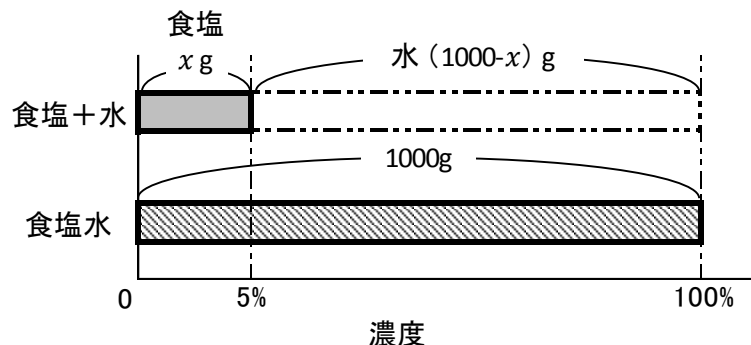
例) 海の魚を飼うために、食塩で人工海水(約3%食塩水)を作る学習

例) スポーツドリンクに含まれる砂糖の量やしょうゆに含まれる食塩の量を表示濃度から調べる学習(→家庭科との関連)

○溶液と溶媒の量の関係を視覚的に捉える。

※線分図(テープ図)の利用(→小学校算数)

<5%の食塩水を1000g作るのに必要な水と食塩>



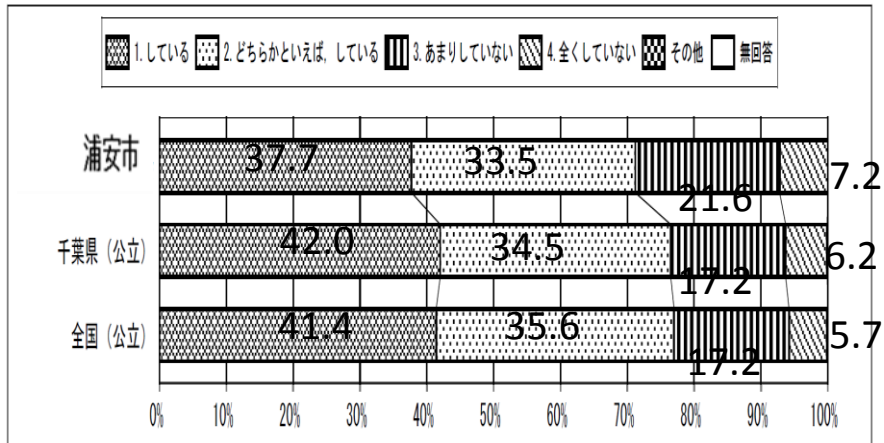
$$\frac{x}{1000} \times 100 = 5$$

食塩の量は $x = 50$ (g)
水の量は $1000 - 50 = 950$ (g)

質問紙調査から

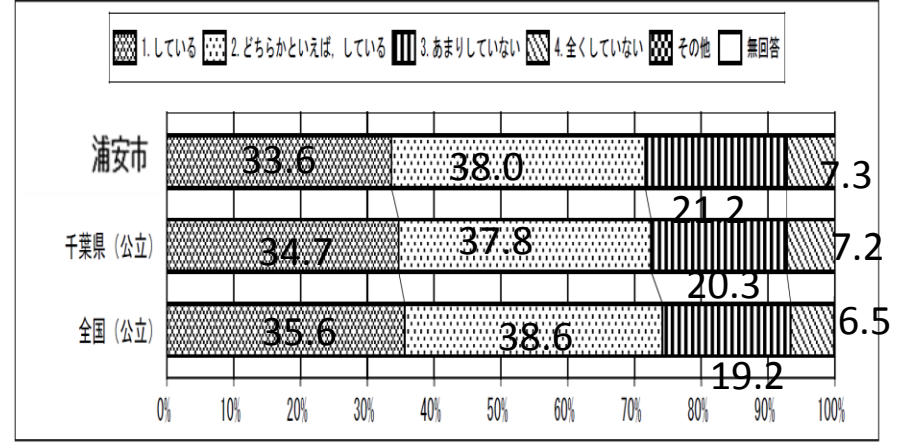
小学6年生

毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。



中学3年生

毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。



概要

「生活習慣」について

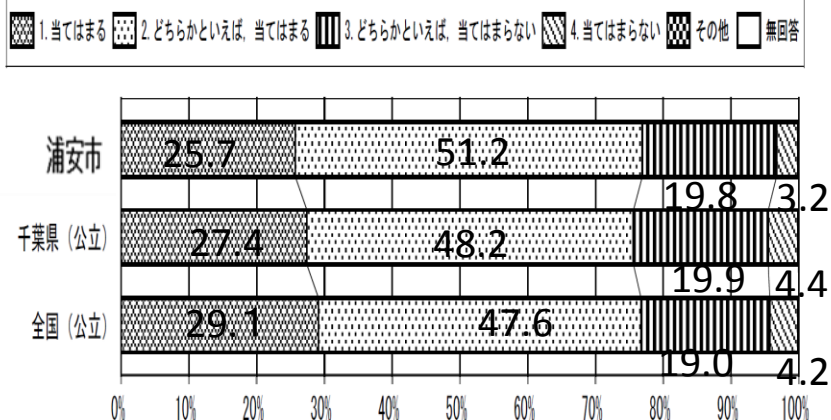
「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。」の質問に「している」+「どちらかといえば、している」と回答した割合は、小学生で71.2%、全国値は77.0%で、中学生は71.6%、全国値は74.2%でした。

小・中学生ともに、全国値を下回り、小学生は5.8ポイント、中学生は2.6ポイント下回りました。

児童生徒の生活習慣の確立や改善を図っていくことは、学習の基盤となると考えます。

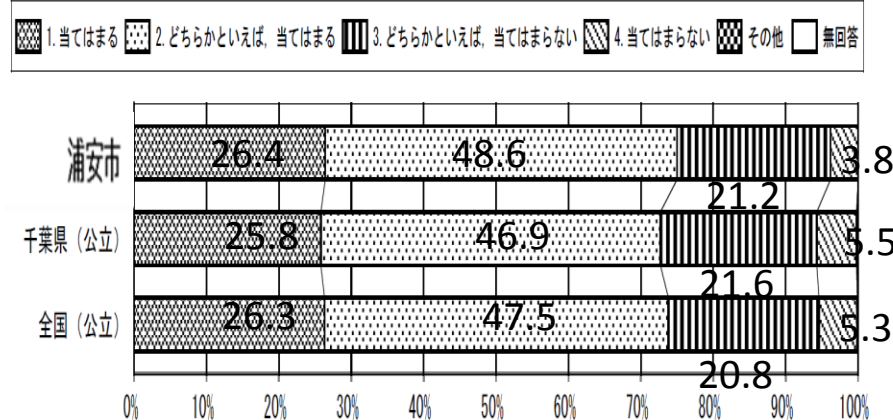
小学6年生

5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて自分で考え、自分で取り組んでいたと思いますか。



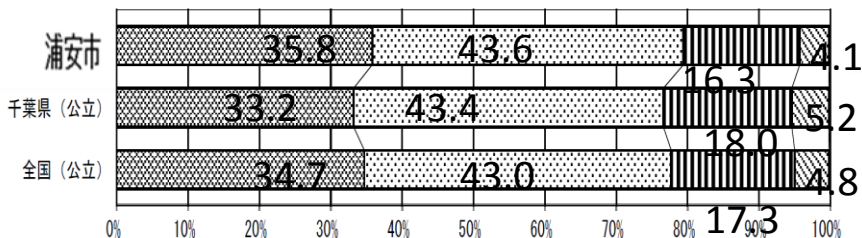
中学3年生

1, 2年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて自分で考え、自分で取り組んでいたと思いますか。



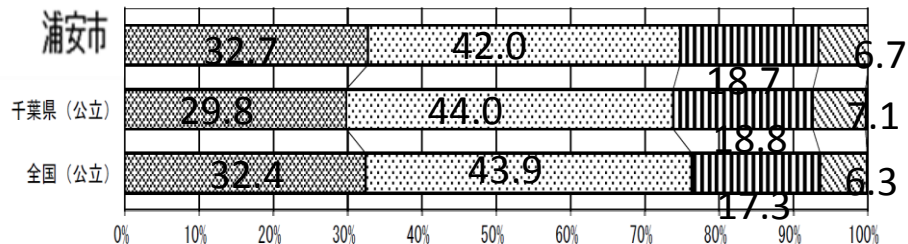
小学6年生

学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか。



中学3年生

生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか。



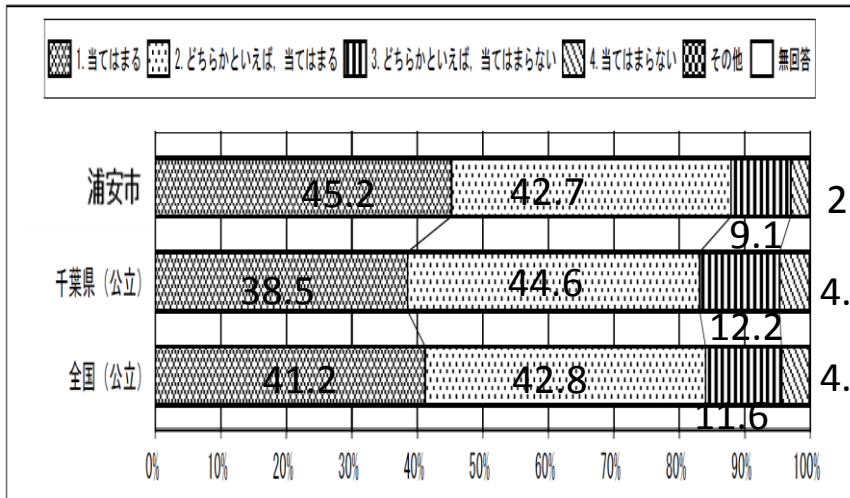
概要

「主体的・対話的で深い学び」の充実に向けて

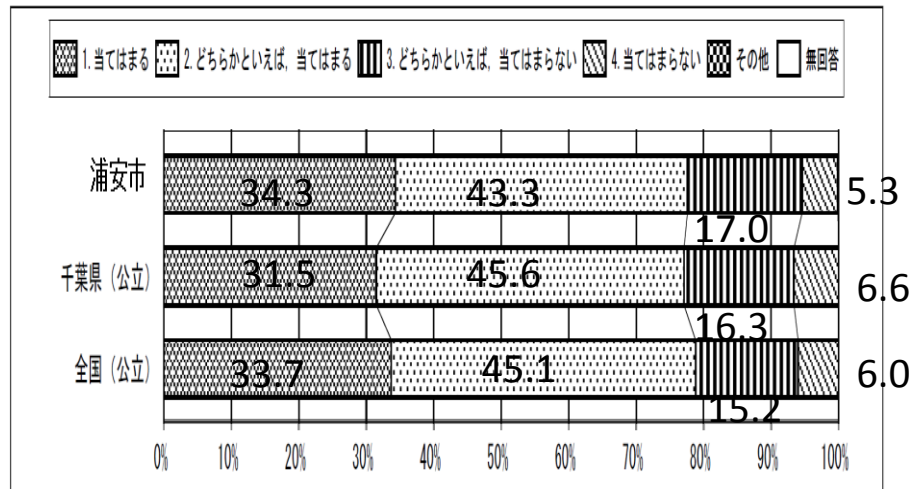
上記2つの質問に対して肯定的回答(「当てはまる」+「どちらかといえば、当てはまる」)の割合について、小学生は2つとも全国値をやや上回っています。中学生は「課題解決に向けて自分で考え、自分で取り組んでいた」と回答している生徒は、全国値を上回り、「話し合い活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」と回答した生徒は全国値を1.6ポイント下回りました。

児童生徒が自ら課題に取り組み、自ら解決できる場面を作っていくことが大切であると考えます。

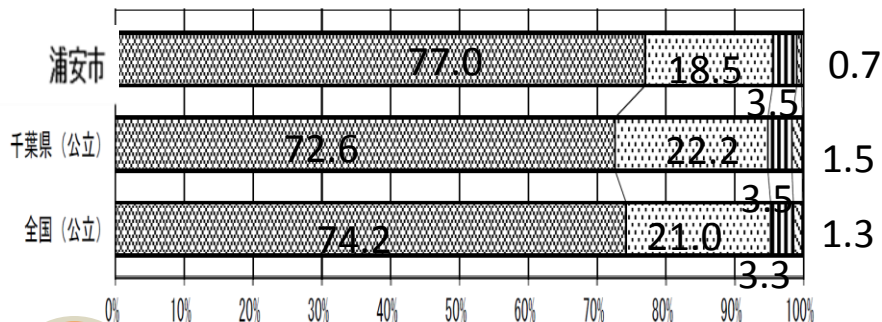
小学6年生 自分にはよいところがあると思いますか。



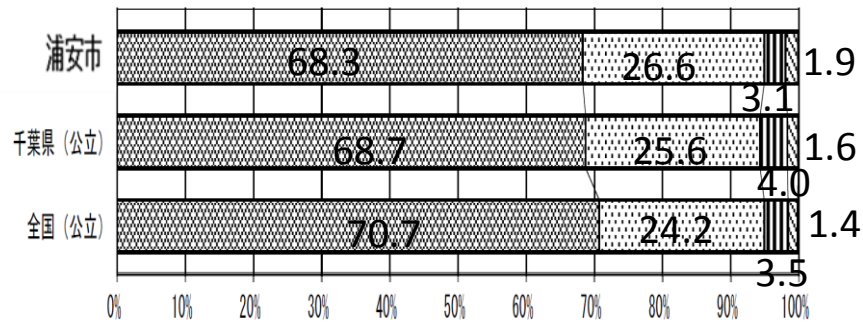
中学3年生 自分にはよいところがあると思いますか。



小学6年生 人の役に立つ人間になりたいと思いますか。



中学3年生 人の役に立つ人間になりたいと思いますか。



概要

「自己肯定感」に関する状況について

上記2つの質問に対して肯定的回答(「当てはまる」+「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合を全国値と比較すると、小学生は全国値をやや上回っており、中学生はほぼ同値です。

児童生徒が自信をもって成長し、より良い社会の担い手になるよう、一人一人の自己肯定感を育む取り組みを進めていくことが大切であると考えます。